八幡神社本殿　附 宮殿

【所　在　地】伊佐市大田 1549
【種　　別】国指定有形文化財（建造物）
【指定年月日】昭和 24 年５月 30 日

建久５（1194）年に菱刈重妙が建立したという社伝が語り継がれているが，建立年代は，更に新しくなり「永正四年丁卯再興島津出羽守殿」と書かれた造営記録が井畔家系図に記され，また永正４（1507）年の墨書銘が蟇股裏面に記されているのが発見されており，この頃に当社が建立されていたと考えられ，当時の建築様式をとどめている。

本殿は，桁行 4.51m，梁間 4.27m，単層屋根入母屋造柿葺。本殿内の宮殿は，桁行 54.5cm，梁間 48.4cm，単層屋根入母屋造，栩葺きである。室町及び桃山形式の手法と琉球建築の情調が強く加味されている。

なお，昭和 29 年の解体修理時に，本殿北東の頭貫の先端部に永禄２（1559）年に記されていた「大工の落書」といわれる墨書が発見され，その当時からすでに焼酎があったという資料として注目された。

（頭貫の墨書）　永□二歳八月十一日　作次郎
　　鬻田助太郎

其時座主ハ大キナこすてをち
やりて一度も焼酎ヲ不被下候
何共めいわくな事□　　（注：□部は，はっきり読めない）